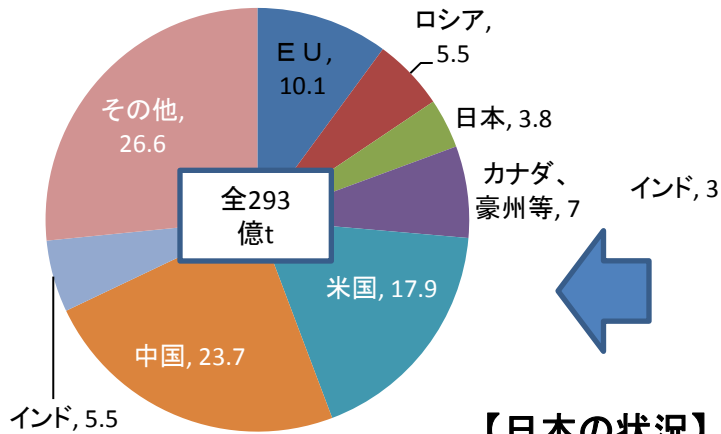
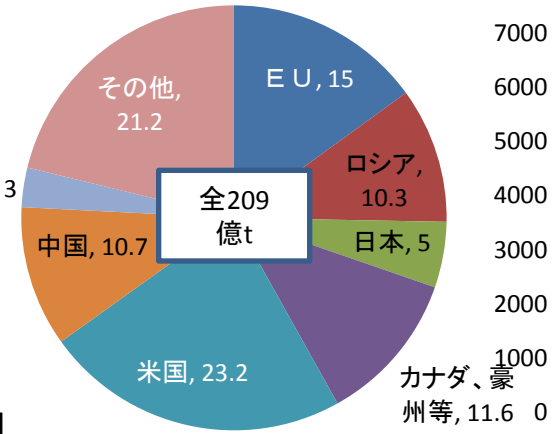


## 【世界の状況】

### 2009国別CO<sub>2</sub>(%)



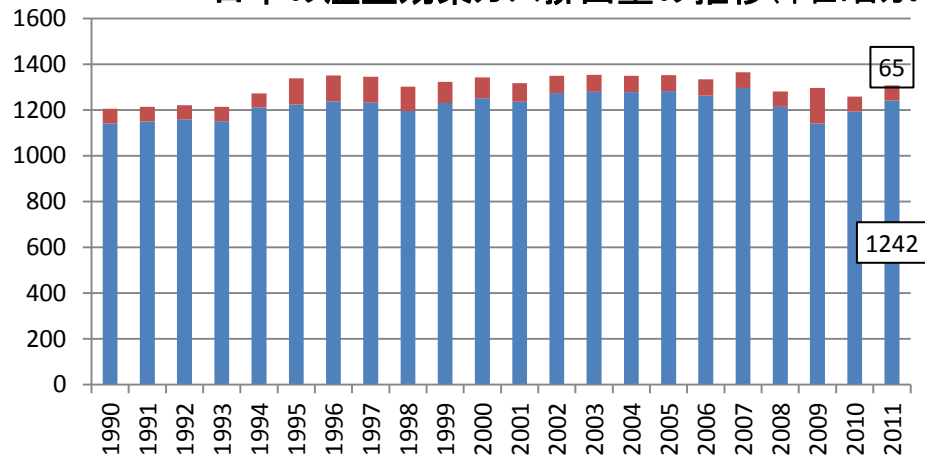
### 1990国別CO<sub>2</sub>(%)



## 【日本の状況】

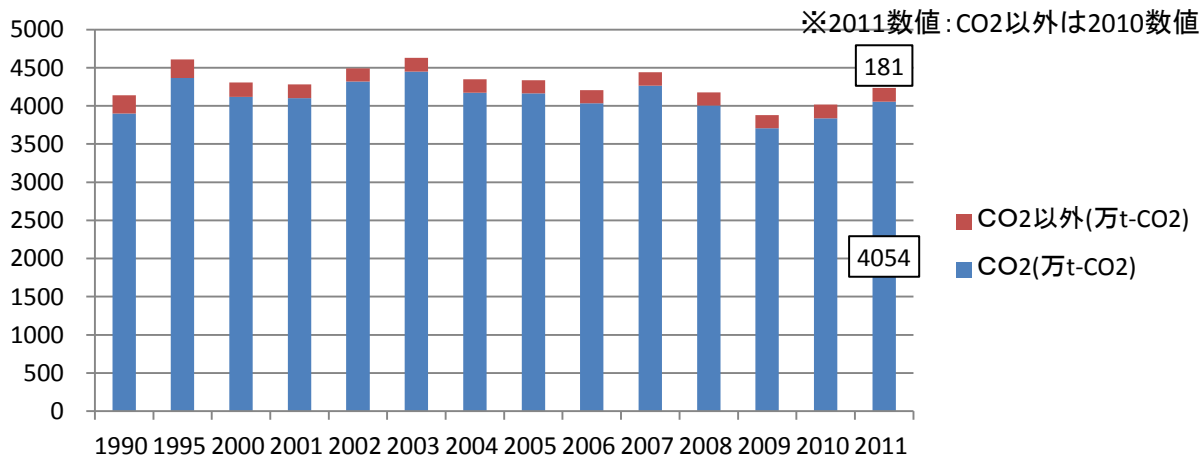
日本の温室効果ガス排出量 13億700万t-CO<sub>2</sub>(2011速報値)

### 日本の温室効果ガス排出量の推移(単位:百万t-CO<sub>2</sub>)



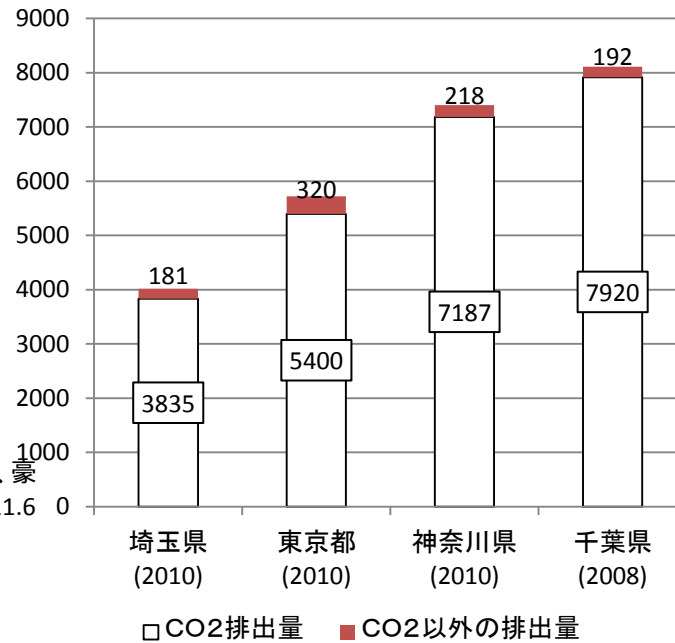
## 【埼玉県の状況】

埼玉県の温室効果ガス排出量 4235万t-CO<sub>2</sub>(2011概算値)

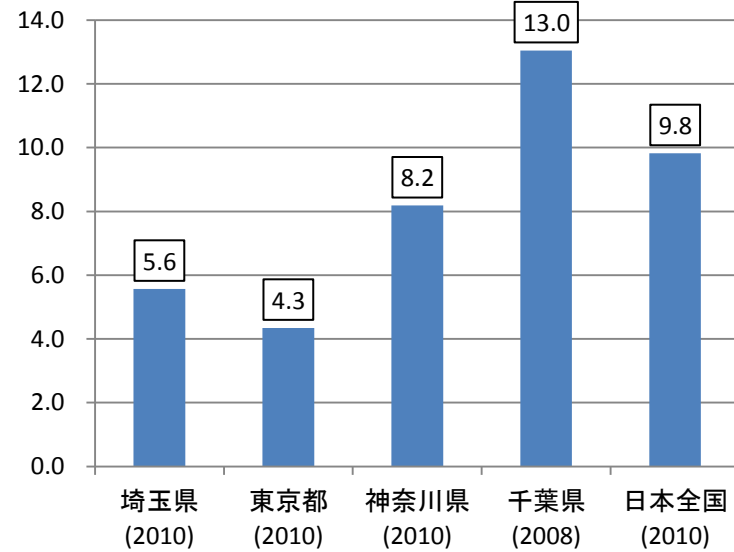


## 【首都圏一都三県の状況】

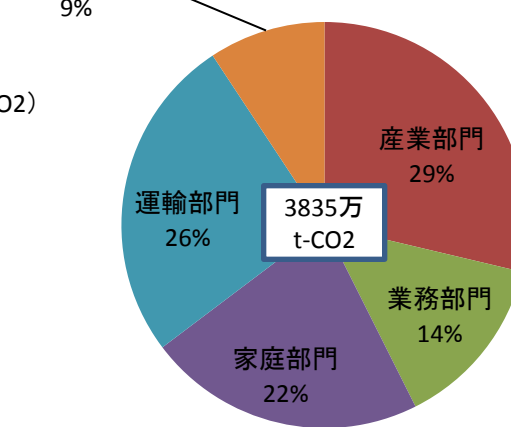
### 温室効果ガス排出量(万t-CO<sub>2</sub>)



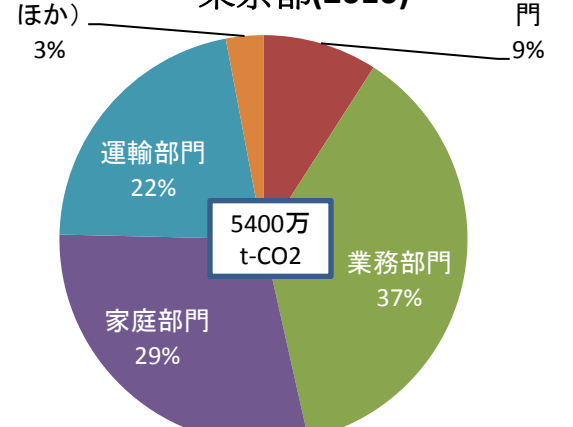
### 一人当たり温室効果ガス排出量 (t-CO<sub>2</sub>)



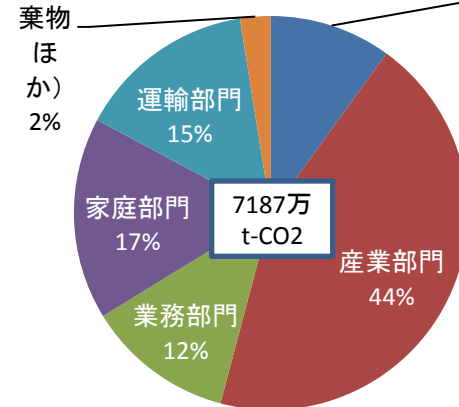
### 部門別CO<sub>2</sub>排出割合 埼玉県(2010)



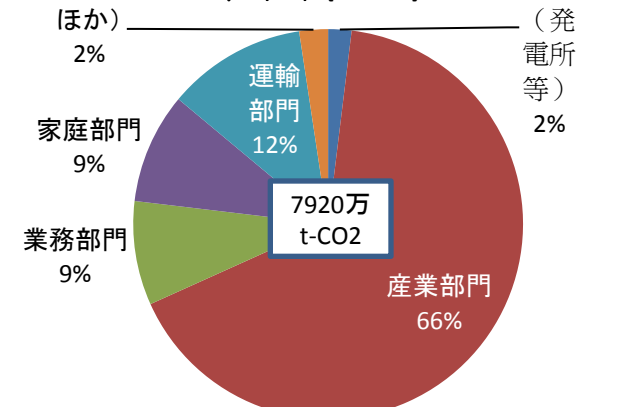
### 部門別CO<sub>2</sub>排出割合 東京都(2010)



### 部門別CO<sub>2</sub>排出割合 神奈川県(2010)

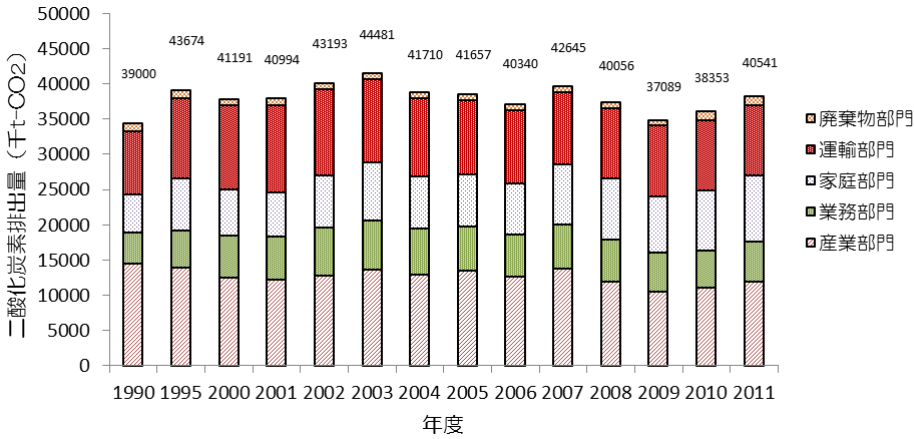


### 部門別CO<sub>2</sub>排出割合 千葉県(2008)

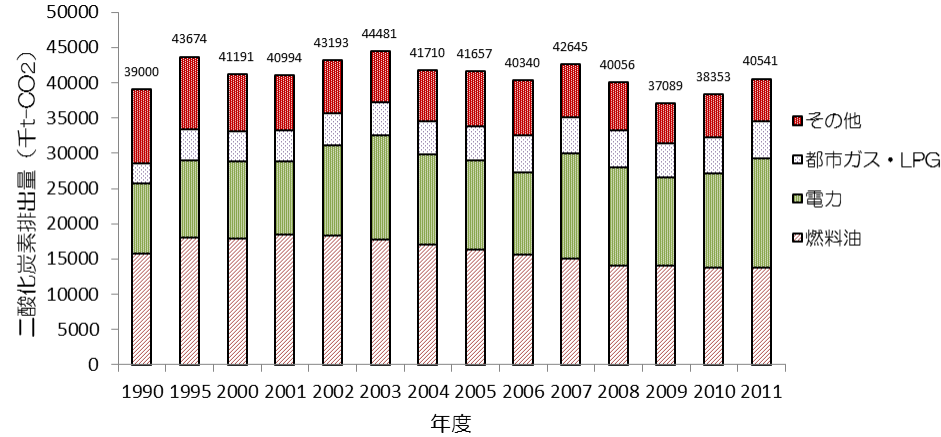


# 温室効果ガス排出量の状況について 埼玉県平成23年度のポイント

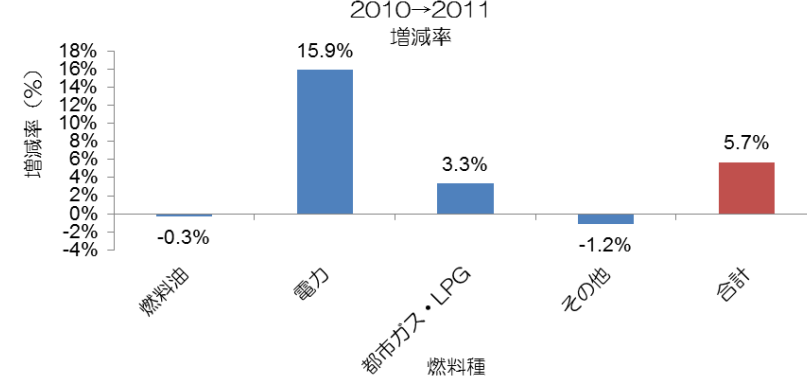
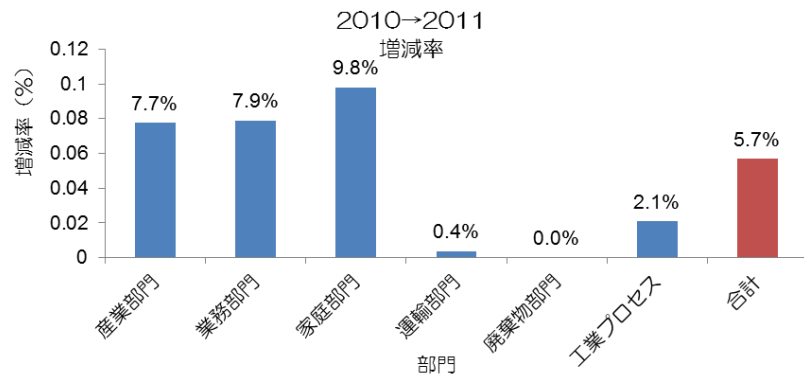
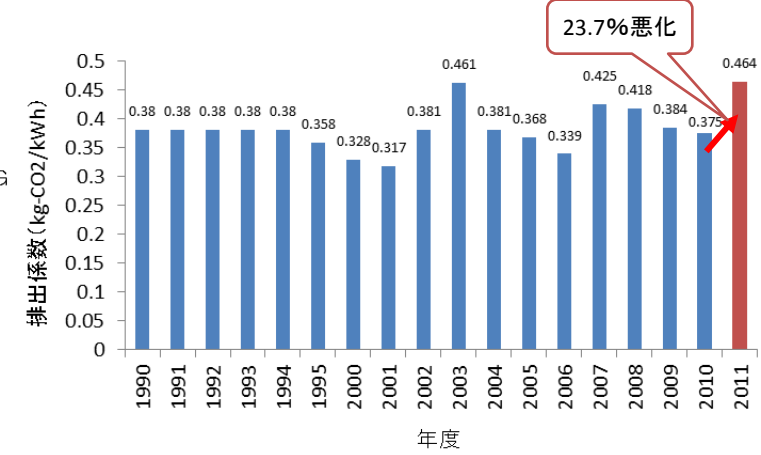
【部門別CO2排出量の変化】



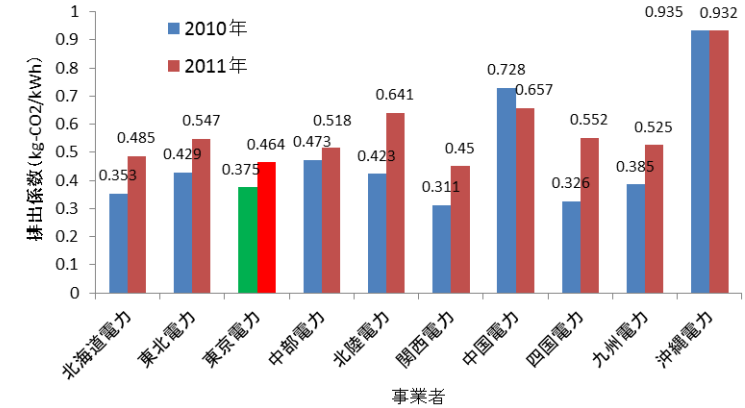
【燃料種別CO2排出量の変化】



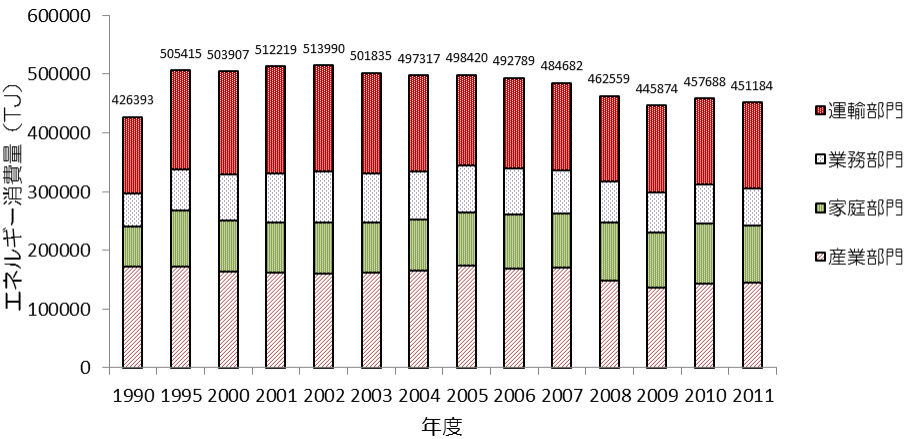
【算出に使用した電力CO2排出係数の推移】



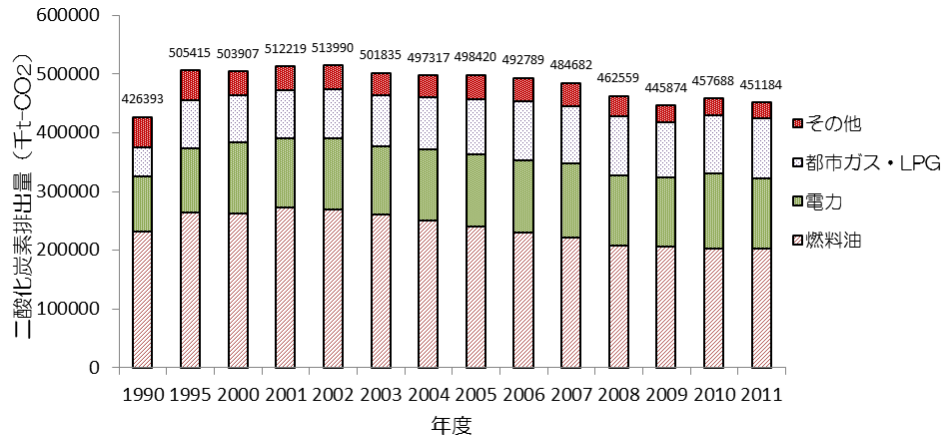
【電気事業者別CO2排出係数の変化】



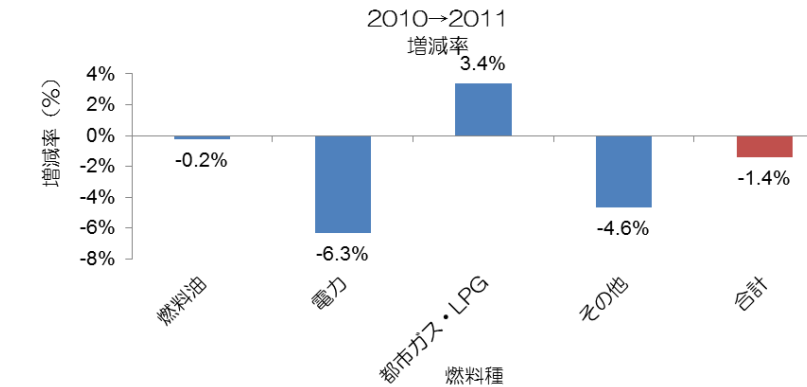
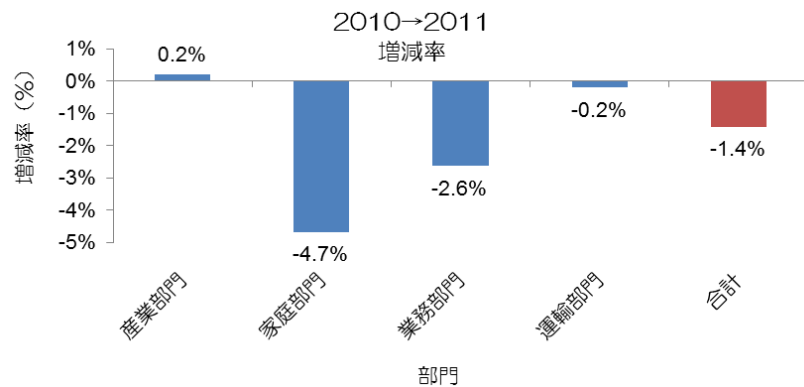
【部門別エネルギー消費量の変化】



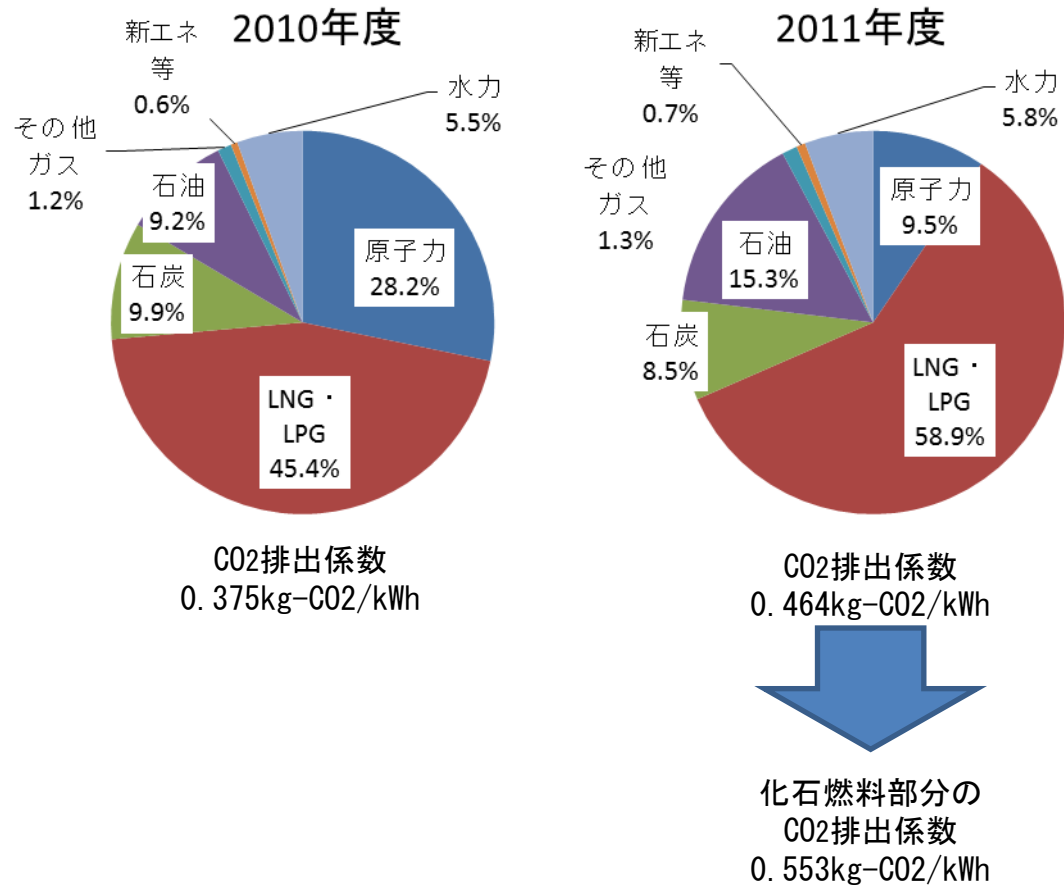
【燃料種別エネルギー消費量の変化】



- 部門別では、CO2排出量は、産業、業務、家庭部門で増加、しかし、エネルギー消費量では、業務部門、家庭部門ともに減少
- 燃焼種別では、CO2排出量は、電力による排出量が15.7%と大幅に増加、ついで、都市ガス・LPGガスも増加、しかし、エネルギー消費量では、都市ガス・LPGガスは増加したが、電力消費量は6.3%減少した。
- 全部門のエネルギー消費量が前年に対し1.4%減少したにも関わらず、CO2排出量が5.7%増加した主な原因は、原発等の停止により電力の排出係数が23.7%悪化したことに因ると考えられる。

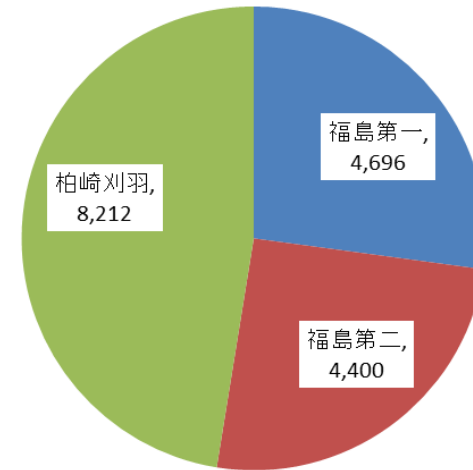


【東京電力のエネルギー別発電電力量構成(含他社受電)】



【東京電力原発発電所定格出力】

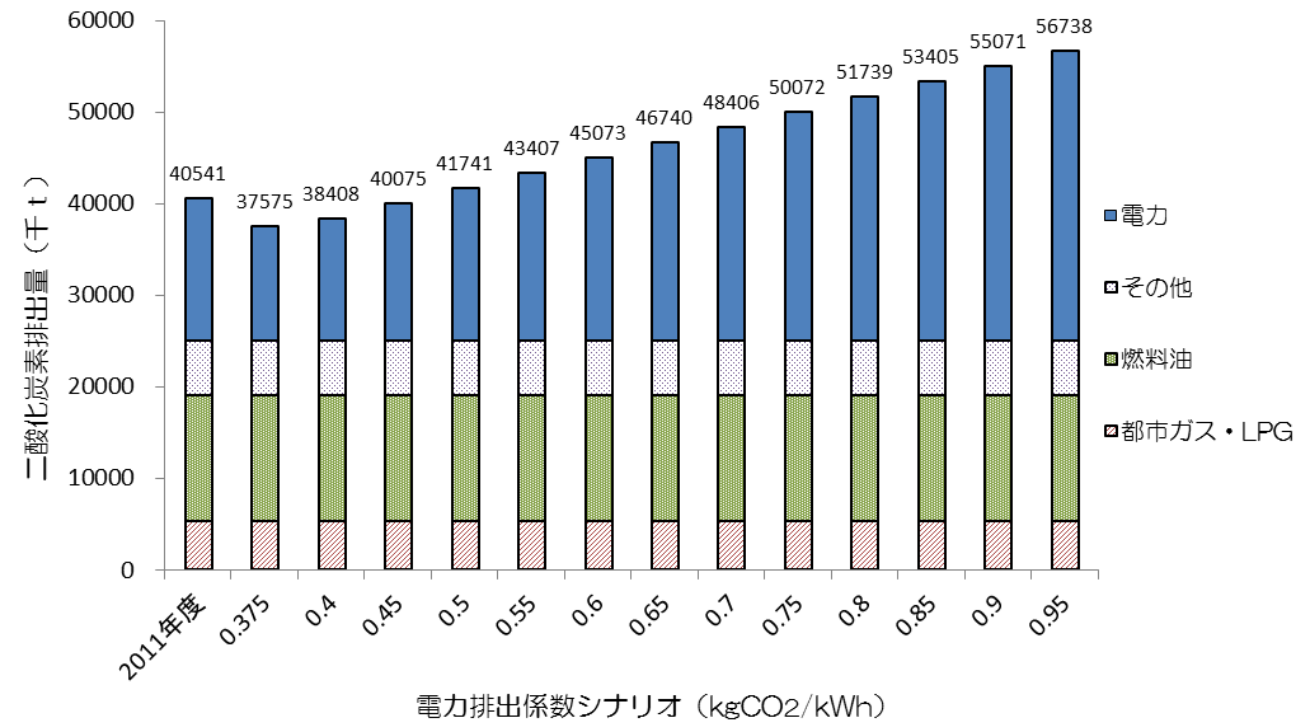
原発発電所出力(千kW)



【原発発電量比の変化に伴う電力起源CO2排出量変化の推計】

原発発電量の全発電量に占める比	推計CO2排出係数 (kg-CO2/kWh)	推計埼玉県電力起源CO2排出量(万t)
0%	0.517	1721.4
5%	0.489	1629.3
10%	0.461	1537.2
15%	0.434	1445.1
20%	0.406	1353.1
25%	0.378	1261.0
30%	0.351	1168.9
35%	0.323	1076.8
40%	0.295	984.7
45%	0.268	892.7
50%	0.240	800.6
9.5%(2011年度値)	0.464	1546.3

【電力排出係数の変化に伴う埼玉県CO2排出量変化の推計】



備考：電力以外は2011年度推計値とする